

全 学 年

在学中に受験可能な資格試験	資格名	概要	種別	受験資格	申込	試験日	試験地	受験料	合格率(全国)	奨励度	講義・実習での支援	問い合わせ先	備考
	放射線取扱主任者	放射性同位元素を使っている病院、大学、教育機関、研究機関、民間企業などで、放射線障害の防止を管理、監督する。	第1種 第2種	不問 (合格後に講習を受講)	5月中旬～ 6月中旬  ※R2年は 9月上旬～ 10月上旬	8月下旬 1種：2日間 2種：1日間  ※R2年は 12月下旬	札幌、東京、 大阪、福岡	1種： 14,565円 2種： 10,389円	1種： 約33% 2種： 約25%	1種：A 2種：B	放射線基礎、放射線測定学、放射線生物学・演習、放射線物理学・演習、原子力法規、放射線管理・演習、アイソトープ・化学実験、放射線照射実験、放射線応用工学、放射線人体影響学などにおいて授業を実施している。	(公財)原子力安全技術センター 主任者試験グループ 〒112-8604 東京都文京区白山 5-1-3-101号 東京富山会館ビル4F TEL：03-3814-7480  〈学内〉砂川	第1種を取れば、「エックス線作業主任者」資格を申請のみで取得でき、第2種では試験の一部が免除される。 就職活動に有利 個人指導有り
	エックス線作業主任者	工業分野においてX線により製品の非破壊検査や品質検査を行う。		不問	問い合わせ先へ 年3～6回	問い合わせ先へ 年3～6回	全国7ブロック の安全衛生センター	6,800円	約54%	C	上記講義で授業を実施している。	(公財)安全衛生技術試験協会 中部安全衛生技術センター 〒447-0032 愛知県東海市加木屋町 丑寅海戸51-5 TEL：0562-33-1161  〈学内〉砂川	就職活動に有利 個人指導有り
	技術士補 (原子力・放射線部門)	「科学技術に関する技術的専門知識と高等の応用能力及び豊富な実務経験を有し、公益を確保するため、高い技術者倫理を備えた、優れた技術者」の育成を図るための、国による資格認定制度(文部科学省所管)が技術士です。技術士には、実務経験が要求されるため、学生は、第1次試験のみ、受験可能です。この合格者を技術士補と称します。		不問	6月上旬～ 7月上旬	10月中旬	12都道府県 (北陸では 石川県)	11,000円	42%	B	上記講義のほか、原子力基礎、伝熱・流体工学、材料科学、電気電子工学、機械工学、原子力倫理、原子力安全学などにおいて授業を実施している。	(公社)日本技術士会 技術士試験センター 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館4F TEL：〈事務局〉03-6432-4585  〈学内〉砂川	
	危険物取扱者	発火性、引火性の強い危険物を製造、貯蔵、取り扱いをする場所で保安の監督をする。	甲種： 全危険物 乙種： 第1～第6類 丙種： ガソリン 他	甲：高専卒以上 化学に関する学科 又は課程を終了 乙種で2年  乙・丙：不問	都道府県ごと	都道府県ごと	都道府県ごと	甲種： 6,600円 乙種： 4,600円 丙種： 3,700円	甲種： 約30% 乙種： 約40% 丙種： 約55%	C 甲種：C 乙種：E	基礎化学、科学リテラシ、材料科学、基盤工学実験(化学系)においてその基礎となる授業を実施している。	(一財)消防試験研究センター の各都道府県支部又は都道府県庁の消防担当課、市町村の消防本部、消防署  〈学内〉砂川	就職活動に有利 個人指導有り
	公害防止管理者	ばい煙、汚水、騒音、振動などの公害の発生を、法律の規制値内にとどまるよう管理する企業内の公害防止責任者	大気、水質第1～4種、一般・特定粉塵、騒音、振動、ダイオキシン類、主任管理者 全13種	不問	6月初旬	10月初	札幌、仙台、 東京、愛知、 大阪、広島、 高松、福岡、 那覇	8,200円 ? 8,700円	約25%	B (大気、水質)	上記講義で授業を実施している。	(一社)産業環境管理協会 公害防止管理者試験センター 〒101-0044 東京都千代田区 鍛冶町2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル TEL：03-5209-7713 <a href="https://www.jemai.or.jp">https://www.jemai.or.jp</a>	就職活動に有利 個人指導有り
	電気主任技術者	電気工作物の工事、維持、運用に関する保安上の監督責任者 (電気事業者は有資格者から主任技術者を選任する)。 三種：電圧が5万ボルト未満の電気工作物 二種：電圧が17万ボルト未満の電気工作物	第三種	不問	第三種：8月中旬 3月下旬	第三種： 5月中旬～ 6月上旬 11月中旬～ 12月上旬	全国多地域に おいて実施 (福井県)	第三種 書面 5,200円 インターネット 4,850円	第三種 約12%	A 第二種 第三種	電気電子工学Ⅰ・Ⅱ、計測制御工学、原子力ロボット工学、基盤工学実験(電気系)においてその基礎となる授業を実施している。	(一財)電気技術者試験センター 〒104-8584 東京都中央区 八丁堀2-9-1 RBM東八重洲ビル8F TEL：03-3552-7691	
	エネルギー管理士	製造業、鉱業、電気供給業、ガス供給業、熱供給業の5種類の第一種エネルギー管理指定工場(燃料等の使用について、年間使用量が原油換算3000kl以上または電気の使用について、年間使用量が1200万kWh以上)において、エネルギーの使用量に応じてエネルギー管理士の免許状の交付を受けている人のうちから1人ないし4人のエネルギー管理者を選任する必要がある。	熱管理士 電気管理士	不問	5月中旬～ 6月上旬	試験：8月 研修：12月  試験合格者は免許状申請までに1年以上の実務経験が必要。	北海道、宮城、 東京、愛知、 富山、大阪、 広島、香川、 福岡、沖縄	17,000円 (非課税)	電気管理士 23%	B (電気管理士)	原子力基礎、放射線基礎、伝熱・流体工学、バックエンド工学、放射線化学などにおいてその基礎となる授業を実施している。	(一財)省エネルギーセンター北陸支部 〒930-0004 富山市桜橋通り5-13 富山興銀ビル11F TEL：076-442-2256 <a href="https://www.eccj.or.jp/">https://www.eccj.or.jp/</a>	資格の取得方法には、試験に合格する方法と研修を受講する方法がある。 試験は誰でも受けられるが、研修は3年以上の実務経験が必要。
	非破壊試験技術者	非破壊試験(放射線透過試験、超音波探傷試験、など)結果の信頼度は、当該技術者の技量に大きく依存し、個人差がなく、再現性があり、国際的にも統一された規格や手順が必要になる。そのため、国際および国内規格に基づいた公的な認証制度が整っており、本欄はその認証申請に必要な資格試験(1次および実技の2次試験)に関する説明である。	非破壊検査技法〔NDT法〕ごとにレベル1、レベル2、およびレベル3	レベルごとに新規試験、再試験、再認証試験がある。新規試験(レベル1およびレベル2)を受験しようとする者は、過去5年間において定められた最低訓練時間を必要とする。 (備考欄参照)他の試験については省略。	試験2ヶ月前	春期と秋期	東京、大阪、 福岡、千歳、 名古屋、広島、 など	18,700円 (税込) (1レベル、 1NDT法 あたり)		C (レベル1)	基礎工学実験、電気電子工学Ⅰ・Ⅱ、計測制御工学、非破壊検査技術、基礎工学実験(非破壊検査)においてその基礎となる授業を実施している。	(一社)日本非破壊検査協会 認証事業本部 〒136-0071 東京都江東区亀戸 2丁目25-14 立花アネックスビル10F TEL：〈認証事業本部〉 03-5609-4014 <a href="http://www.jsndi.jp">www.jsndi.jp</a>  〈学内〉砂川	試験合格後に認証を申請するには、NDT法およびレベルにより異なるが、最短でも1ヶ月間の経験月数を必要とする。 技術研修は、例えば(財)若狭湾エネルギー研究センターで実施している。

注)奨励度はAが最も高い。

\* 1、2年でも受験でき、比較的取得しやすい資格

\*\* 就職などに有利で3、4年前期に受験

\*\*\* 難度高く、優秀な学生にすすめる資格